

コロナ禍における

地域医療連携室の活動について

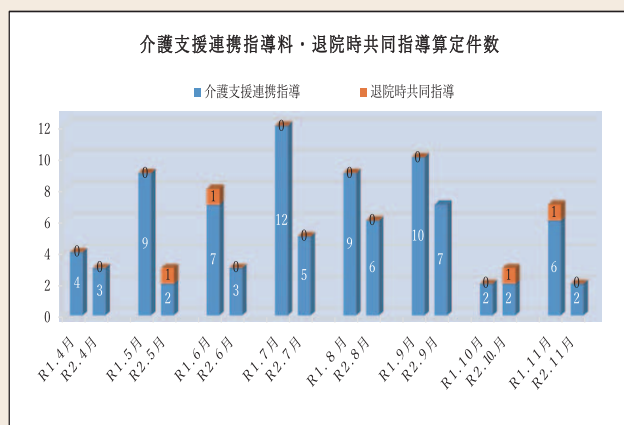
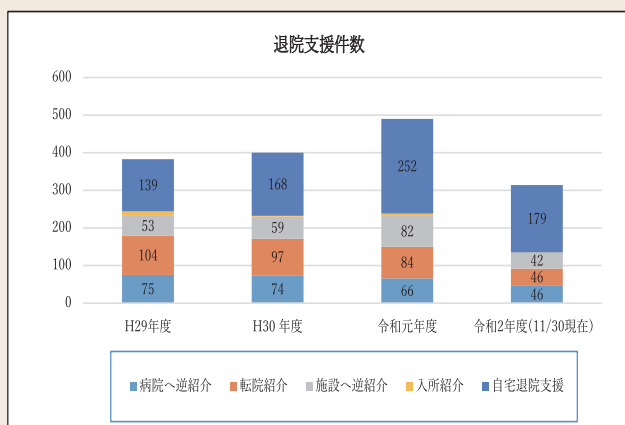
医療ソーシャルワーカー 林 大作

2020年1月、日本でも新型コロナウイルス感染症が発生し、各医療機関の感染症対策は今までと一変しました。発熱外来の設置や面会制限等、各医療機関・施設が様々な対応を取る中、私たち地域医療連携室職員の退院支援のあり方にも変化が起きました。

当院でも入院患者さんへの面会制限を行っており、ご家族や介護支援専門員・訪問看護師等の在宅支援者が患者さんと直接会って、病状や日常生活動作能力を確認することが困難となっていました。さらに、感染拡大を警戒した在宅支援者が来院を控えたり、一時期は当院職員も電話や文書等での情報共有を優先したことで、在宅支援者を交えた退院前カンファレンスを開催する機会が減少しました。そのため、今年度の介護支援連携指導料の算定件数は、昨年度と比較し大幅に減少しました。

2020年5月に、コロナウイルス専門家会議より「新しい生活様式」が提言され、当院でもその基準に沿った形で退院前カンファレンスを実施するようになりました。参加者の体調確認の徹底、換気を良くする、ソーシャルディスタンスを確保する等の対策を実践した上でカンファレンスを実施することで、関係者の方々に安心して参加いただくことが出来るようになりました。

私たちは、退院前カンファレンスが患者さんの不安を解消したり、希望する生活に近づくための支援策を講じる重要な場だと感じています。今後も、地域の在宅支援者の方々の協力をいただきながら、患者さんが安心して退院できるような支援を行いたいと思います。





職場紹介

NHO IBUSUKI MEDICAL CENTER



研究検査科

臨床検査技師長 川崎 達也



私たち検査科は臨床検査技師5名が在職しており、入院、外来の検査や時間内外緊急検査も含めて多種多様な業務を行っています。業務の内容は、採取採血された検体を用いた生化学、血液、免疫、細菌、病理、及び輸血検査などの検体系検査から、心電図、超音波（エコー）、脳波、聴力、心臓カテーテル検査などの生理系検査に至るまで幅広い仕事です。ここ最近では新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、4月には新型コロナ PCR 検査を外部委託できる

ようになり、6月には新型コロナ抗原検査が院内で実施可能となりました。

チーム医療として担うところも大きく、NST、ICT、ASTや医療安全、感染対策のメンバーでもあります。NSTラウンドやICT、ASTラウンドにも参加し、栄養管理、褥瘡対策、感染対策などを通して患者さんをサポートし、多職種連携の一部を担っています。

平成30年12月1日に医療法の改正が行われ、臨床検査技師の業務の中でも、国際標準に準拠した精度の確保と業務の管理が強く求められるようになりました。これらを踏まえながら、より一層の迅速正確なデータ提供に努めると同時に、病院理念でもある、患者様にやさしく、地域に信頼される良質な検査科である様に努力しています。

外来

外来看護師長 松元 恭子



当外来は9科の診療科及び6科の専門外来を有しています。令和2年9月から、新たに整形外科も専門外来として開設されました。他にも救急外来では指宿医療圏の救急車稼働の3～4割に対応しています。2次救急の受け入れで緊急心臓カテーテルや緊急内視鏡に対応するなど地域医療において重要な役割を担っています。

外来スタッフは、師長・副師長を含め23名で病院の顔として、患者様に「気配り・目配り・思いやり」

を持って寄り添う看護を実践しています。

子育て世代のスタッフが多く、子育てと仕事を両立させながら、日々外来を走り回っています。

患者様や地域と病院を繋ぐパイプ役として、これからも病棟と連携を図りながら頑張っていきたいと思います。



田舎医者の流儀 (136)・・・天然の造水装置

今週、寒波が訪れ、農園の小屋は室内温度0度以下まで下がり、外は霜で覆われている。農園は自宅のある街中より、少し北にあり高台になっているだけで霜が酷いし、小さな池に氷も張る。ポセイリアは室内に入れないといけなかったが、理解不足で屋外に出しっぱなしにして、枯らしてしまった。ジャガイモや里芋の葉が枯れたので、掘り出すと多くの芋を収穫できた。ブロッコリーや大根は霜が付くのもめげずに成長を続けている。

14日から日本海側は大雪となり、新潟県湯沢町では24時間降雪量が観測史上最大となる113cmを観測したという。高速道路で多くの車が立ち往生し、2日間も閉じ込められたと報道され、落雪による事故も多く報告された。軒下迄高く積もった雪に住民の生活は大変だ、特に高齢者住民は雪かきに苦労しているようだ。

「冬の日本海は西高東低の気圧配置で強い北西季節風が吹き荒れる。大陸起源の冷たく乾燥した季節風が日本海に強く吹き込むと、対馬暖流の影響を受けた暖かい海面からは蒸発が盛んに起こり、生成した大量の水蒸気は上空で冷やされ凝縮して雪雲を発達させる。大量の雪雲は季節風とともに日本列島めがけて吹き寄せられる。日本列島の屋台骨をなす脊梁山脈・・・奥羽山脈や日本アルプス、中国山地など・・・にぶつかって上昇気流が生じ、日本海側の平地から山地にかけて大量の雪を降らせる。大量の積雪に見舞われる地域は道路の通行止めや集落の孤立など社会・経済活動に大きな損害を被ることもある。一方で我が国の豊かな水資源を維持するため、冬の降雪は大変ありがたい存在である」

「日本列島に降る雪はもちろん淡水の結晶、その源は日本海がたたえていた海水、海水は飲料には適しないが、淡水は飲むことができる。日本海は大量の海水を蒸発して淡水を作り、日本列島に供給する天然の造水装置の働きをしている。山地の雪は簡単に溶けない、ゆっくり時間をかけて溶けたあとは河川水として海に戻るものもあるが、一部は地中にしみ込み地下水となって地下に長期間貯蔵される。日本列島で暮らしてきた人々はこの天然の造水装置から限らない恩恵を受けてきた」という。(日本海・・・その深層で起こっていること・・・蒲生俊敬著 講談社より一部改変)

ユーラシア大陸と日本列島に囲まれた縁海・日本海がその独特の深層循環システムにより日本列島に温暖で湿潤な気候をもたらす、豊かな水産資源をもたらしていると言う。すごいね!!



外来診療担当医一覧

令和3年1月1日現在

診療科等		月	火	水	木	金	備 考
循環器内科	午前	鹿島	吉重	鹿島	大井畑	鹿島	
総合診療内科	午前	大井畑 花田(血液内科)	花田	中村(一)	花田	中村(一)	
消化器内科	午前	山筋	(休診)	宮田 大重(肝内)	大重	山筋	
小児科	午前	相関	相関	相関	相関	相関	
	午後 外来 予防接種 健診	荒武 中村(陽)	荒武 中村(陽)	中村(陽)	荒武 中村(陽)	中村(陽)	午後診療受付(月～金曜日) 14時～16時 予防接種(毎週月曜・火曜・木曜・要予約) 受付14時～14時30分 一ヶ月検診(月・木) 受付12時30分(要予約) 3～4・7～8・9～11ヶ月・1歳児健診(水曜) 受付14時～14時30分(要予約)
外科	午前	(手術日)	宮菌	宮菌	(手術日)	(手術日)	金曜は予約患者のみの診察となります。
泌尿器科	午前	千代丸	(手術日)	千代丸	千代丸 (再診のみ)	千代丸	
腎臓内科	午前		久保		久保		15番診察室にて診察します。
産婦人科	午前	田代 絞島	櫻井 絞島	(手術日)	田代 絞島	田代 櫻井	1ヶ月健診(月・木曜日:要予約) 2週間健診(月・火・木・金:要予約) 診療受付(母親・新生児) (11時30分～12時) 午後診療受付(水・金曜日以外) 13時30分～15時(再診のみ) 母乳外来(毎週火・木曜日) 母乳学級(毎月第2・3水曜日)
	午後	田代 絞島	櫻井 絞島 助産師 母乳外来	助産師 母親学級	田代 絞島 助産師 母乳外来	(手術日)	
眼科	午前	尾辻	尾辻	尾辻	尾辻	尾辻	月曜・火曜・水曜は午後から手術のため受付は午前10時までとなります。木曜・金曜の午後は特殊外来(視野検査、レーザー治療、造影検査、硝子体注射など)
	午後	(手術日)	(手術日)	(手術日)	(特殊外来)	(特殊外来)	
専門外来	午前	呼吸器内科 小児慢性疾患 小児循環器	小児外科	小児慢性疾患 小児循環器	小児慢性疾患 小児循環器	小児慢性疾患 小児循環器	呼吸器内科 毎週月曜日 予約制(14時～17時) 呼吸器外科 毎月第1・3金曜日 予約制(11時～14時・15時～) 小児循環器 毎週月・水・木・金曜日 予約制(13時30分～)
	午後	小児慢性疾患 小児循環器	小児慢性疾患 小児外科	もの忘れ外来 小児慢性疾患 小児循環器	小児慢性疾患 小児循環器	呼吸器外科 小児慢性疾患 小児循環器	小児慢性疾患 毎週月・水・木・金曜日 予約制(11時～14時・15時～) 小児外科 毎月第3火曜日 予約制(13時30分～) もの忘れ外来 第2・第4水曜日 予約制(14時～16時)
内視鏡検査		宮田	山筋	山筋	山藤	赤崎	第1・3・5木曜日 山筋 第2・4 木曜日 藤井
緩和ケア外来				要 予 約			随時予約受付
整形外科	午前			織田		織田	水曜日・金曜日 9時～17時 受付:9時～11時・13時～16時
	午後			織田		織田・前迫	前迫先生:隔週(1月15日(金)、1月29日(金))

- 受付時間 午前8時15分～午前11時00分
- 診療時間 午前8時30分～午後17時15分
- 休診日 土・日・祝祭日・年末年始 ※急患の方は随時受付いたします。
- 電話番号 0993-22-2231

面会時間 平日は午後2時から8時まで
土曜、日曜及び祝祭日は
午前11時から午後8時まで

発行:独立行政法人国立病院機構 指宿医療センター
〒891-0498 鹿児島県指宿市十二町4145番地
TEL:0993-22-2231(代表)
FAX:0993-22-2772(地域医療連携室)
URL:https://ibusuki.hosp.go.jp
印刷:株式会社陽文社

